

電気通信大学 平成20年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|--------|
| 授業科目名 | 文学A | | |
| 英文授業科目名 | Literature A | | |
| 開講年度 | 2008年度 | 開講年次 | 1(2)年次 |
| 開講学期 | 前学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | 講義 | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 総合文化科目-人文・社会科学科目- | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 島内 景二 | | |
| 居室 | 東1-815 | | |

| | |
|--------------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| shimauch@bunka.uec.ac.jp | |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| <p>文学入門をかねて、「歴史小説・時代小説」と呼ばれているジャンルを取り上げる。理工系学生でも、かなり読まれているジャンルだと思われるからである。いわゆる純文学よりも、「文学の楽しさ」を感じさせてくれる小説を題材としながら、文学は何のためにあるのか、じつくりと考えてみたい。</p> <p>この講義に触発されて、自分でも歴史小説・時代小説を読むようになり、自分なりの見方で分析できるようになること、それが目標である。</p> <p>歴史小説・時代小説は、いくら読むのが楽しいといっても、ただ受動的に読んでいるだけでは、何の役にも立たない。読者の人生に有益な教訓を引き出す読み方がある。それを、伝授したい。また、それを諸君も参考にしながら、「自分なりの能動的な読書姿勢」を身につけたらいたい。</p> |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 特に、なし。 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| 特に、なし。 |

| |
|-----------------------------|
| 【教科書等】 |
| 教科書は、使用しない。適宜、プリントを用いて講義する。 |

【授業内容とその進め方】

次のような作家を取り上げる予定である。すべて、講義者が文庫本の解説を書いたり、評論を執筆したことのある作家たちである。

- ・吉川英治 ~ 永遠の宮本武蔵
- ・松本清張 ~ 権力欲から政治を切る
- ・新田次郎 ~ 電通大の誇るべき大先輩
- ・司馬遼太郎 ~ 永遠の坂本龍馬
- ・吉村昭 ~ 史実への執念
- ・平岩弓枝 ~ 江戸情緒を生きる
- ・高橋義夫 ~ 逞しい男たち
- ・佐藤雅美 ~ 江戸時代の法制度と庶民の暮らし
- ・乙川優三郎 ~ 人生の意味を探究する求道者
- ・安部龍太郎 ~ 講義者の親友にして、若き巨匠
- ・山本一力 ~ 当代きっての売れっ子作家
- ・塚本青史 ~ 中国歴史小説の面白さ
- ・火坂雅志 ~ 来年度のNHK大河小説の原作者

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末の論述式試験を、最重視する。ただし、学期途中で小レポートを課す。これを提出していなければ、試験の成績からワンランク下げる。また、何回か出席を取る。

小レポートは、歴史小説を実際に読んで、その分析を試みってもらう。

学期末試験は、この講義によって、諸君がとれだけ「歴史小説・時代小説」というジャンルに対して新たな認識に到達したか、また文学という行為の意味をどれだけ理解できたかを、論述形式の設問によって解答してもらう。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

一口に「歴史小説・時代小説」といっても、無限の広がりがある。その楽しさ、深さ、恐ろしさを、感じてみよう。

文学は、人生に対して悩んでいる読者に、きっと難問と向かい合うヒントを与えてくれます。

【その他】